



東京都  
岡口歯科クリニック

植草 智史  
先生

今回のアイテム

エステティック・コンポジット・ファイニッシング・キット  
オブチワンステップポリッシャー

## コンポジットレジン修復に有効な形態修正、研磨システム

コンポジットレジン修復は、残存エナメル質の可及的保存が可能であり、審美性、機能性も兼ね備えた治療法です。

審美性と機能性を兼ね備えたコンポジットレジン修復にする為には、充填後の形態修正と研磨が大切です。そこで今回、CR充填に有効な形態修正、研磨システムであるエステティック・コンポジット・ファイニッシング・キット及び、オブチワンステップポリッシャーを紹介いたします。

エステティック・コンポジット・ファイニッシング・キットは、形態修正、咬合調整に使用でき

る12枚刃、18枚刃、30枚刃のカーバイドバー6本セットです。

形態修正は、解剖学的形態を付与し、最終研磨後に近似する事が理想です。しかし、コンポジットレジンには、硬さの違うフ

ィラーとレジンマトリックスの混合物であり、その両者からなる凸凹なコンポジットレジン表面を平坦な面にしなければ滑沢になりません。それには、ホワイトポイントのようなファイラーを磨り潰す研削よりも、カーバイドバーの様に面を切る切削の方が平坦になり滑沢な面が得られます。

また、このキットは12枚刃、18

枚刃、30枚刃がある為、12枚刃、18枚刃は形態修正と荒研磨、30枚刃は中研磨として使い分け事が出来ます。

今回、症例に紹介した12枚刃のカーバイドバー(図7エッグ型FG7406)は、臼歯部咬合調整において高い使用頻度となつています。理由としては、エッグ型である為、咬頭内斜面の豊隆を余り損なう事なく、選択的に咬合調整が行えます。

そして、咬合調整の最終局面では、30枚刃のカーバイドバー(エッグ型FG9406)に替え、慎重に咬合調整を行います。

す。これは、30枚刃を使用する事により、中研磨と過度な削り過ぎを防ぐ事が出来るからです(図8)。

カーバイドバーの動かし方としては、一筆書きの様に動かし、スムーズな面になる様に心掛けています。これを行う事は、平坦な面になり研磨時間が短縮されます。

オブチワンステップポリッシャーは、従来の2ステップである中研磨および艶出しを一つに兼ね備えた製品です。

形態修正後、研磨が不十分であると粗造な面が残り、着色お

よびプラークが付き易くなる為、研磨は非常に重要なステップです。この製品は、従来の2ステップ製品と異なり、ワンステップの為、器具を取り替える必要がなく研磨時間が短縮できます。また、3種類の形状がある為、咬合面、唇面だけでなく、辺縁隆線、歯頸部などに対する研磨も可能となります。

これら二つのシステムは、効率的に予知性の高いコンポジットレジン修復を行う為に、有効な器材であると思われま



図2. CRおよびカリエス除去後



図4. 解剖学的形態を考慮し、咬頭ごとに横層して充填(Kerrのステイン塗布 カラープラス ブラウン)



図6. 咬合紙を用いた咬合状態の確認



図8. 咬合調整後



図10. 術後



図1. 術前、CRが一部欠けており、カリエスが認められる



図3. エナメル質に局限したエッチング(Kerrのゲルエッチャント使用) 歯とエッチング材の色調が大きく違う事が重要



図5. 充填後



図7. カーバイドバー(FG7406: 12枚刃)にて、咬合調整及び形態修正



図9. オブチワンステップ ポリッシャーにて研磨